

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

立春とは申しますが、まだまだ寒さ厳しい日が続いて、インフルエンザが猛威を振るっております。

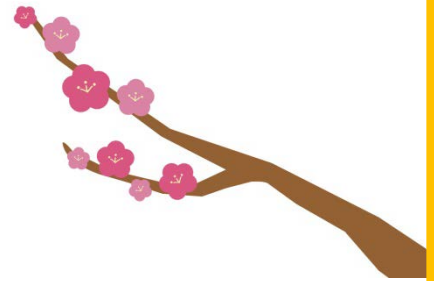
弊社のご利用者様や職員も次々とインフルエンザに罹ってしまっていますが皆様方は如何でしょうか。

予防は手洗いとうがいとはいえ看護師さんに聞いたところ「もしもしかめよ、かめさんよ」の歌に合わせて歌い終わるまで洗うと効果があるとの事。心掛けたいものですね。

三寒四温の季節、お風邪など召しませんようにお気をつけてください。

サンライズの物語

「もう一度自分で歩けるようになりたい」。
強い思いで、再び一步一步を踏みしめた感動の物語。



その方と初めてお会いした時は、80歳を有に超え、70歳まで看護師に従事していた方でしたが、自宅で急に動けなくなりこたつで寝起きをしていました。

息子さんが室内でシルバーカーに乗せトイレへ連れて行くような状態でした。

すぐにベット、訪問入浴を手配致しましたが、ご本人から「もう一度自分で歩けるようになりたいの」との言葉を聞いた時に自宅でリハビリを始めましょうと提案、訪問リハビリが訪問してその方の状態にあったリハビリが始まったのです・・・

1ヶ月近く経ったでしょうか、訪問リハビリの担当者から連絡がありリハビリで歩行器を試してみたいとの提案があり福祉用具担当者と私が同席したときでした。

ベットから立ち上がり歩行器を両手で握ると・・・

1歩・・・また1歩と歩き出したのです・・・

私達サービス関係者は思わず拍手、拍手、そして涙が零れたのでした・・・

ご本人様の強い思いと訪問リハビリ、福祉用具の関係者達が生み出した奇跡・・・

その後その方は自分でトイレへ行けるまでになったのです。

年齢ではなくその方の強い思い・・・その思いに少しでも寄り添いたいと常に私達介護職は考えております。

介護に役立つ書籍紹介

「認知症の介護に役立つ ハンドセラピー」

池田書店 著者：鈴木みずえ

手で触れることで、お互いの心が通じ合い、痛みが軽くなるように感じられることがあります。そこから生まれたスウェーデンの「タクティール」の考えをもとに、介護施設でもすぐに使えるように考案された「ハンドセラピー」についてまとめられた一冊です。

心が安らぐと、イライラも治まり、表情や行動も落ち着き、夜もゆっくり眠れるといった効果が期待されるこのケアの、様々な実践方法が紹介されています。



NEWS 今月のニュース

船橋の有料老人ホームで 地元音楽家の歌声カフェ 近隣住民も参加

船橋市内を中心に音楽教室やカラオケ教室を主宰している鳥居明美さんが1月16日、高根公園駅近くの有料老人ホーム「クラッチメディーナ船橋」（船橋市高根台7）と併設のカフェ「クラッチカフェ」で歌声カフェを開いた。

歌声カフェはグランドピアノの生演奏に合わせてプロの歌手が生歌を披露するほか、参加者が合唱する形式で毎月1回、第1月曜日に行われている。

この日歌声や演奏を披露したのは、リーダーで主宰の鳥居明美さん、ボーカルの高橋恭子さん、平

雅文さん、ギターの坂田正人さん、ピアノの佐藤有里子さんの5人。



今年になってから初の開催となる歌声カフェには近隣住民が多く参加したが、施設の利用者も一緒に参加している。「参加するのは40代の主婦から60代位までの近隣の方と施設の利用者。音楽のジャンルを超えて幅広い人がつながっていくことを目指している」と鳥居さん。

童謡から昭和歌謡、シャンソン、カンツォーネ、民謡、演歌など

ジャンルを超えてみんなが知っている曲が中心で、最近のポップスなども盛り込み幅広い世代の人が気軽に参加できるように工夫を凝らす選曲だ。「地域に歌や音楽を通じて人のつながりをつくり、健康づくりに貢献したい」とも。

鳥居さんは同施設で今後月1回程度、毎月第3または第4月曜日にピアノコンサートも定期的に行っていく予定だという。



<船橋経済新聞
2017年01月18日（水）>



今月の 名言

友ある者は、敗残者ではない

クラレンス（映画「素晴らしき哉、人生！」）

映画「素晴らしき哉、人生！」から抜き出した一言。ことあるごとに運が悪く、絶望していた主人公のもとに天使がやってくるころから物語は始まります。天使は主人公に「自分が生まれてこなかった世界」を見せませんが……。人は人と繋がり、生きていることを感じさせられる名言です。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>